

第2回WGにおいて議論いただきたい事項

- 第1回(9/10)において確認した基本方針を踏まえ、制度の実効性確保のための施策と基準の作成について、具体的な議論を進める必要。
- 議論を具体化するためには、WGにおける職種横断的な論点の整理に加え、WGで合意された方針が実際の取引において運用可能か、**見積もり・行渡りの当事者との検討(職種別意見交換)**を並行して進めることが必要。

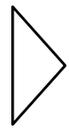
職種別意見交換における検討事項例：

- ① 労務費の基準(素案)の作成(WGの方針に沿って不都合が生じないかの検討)
- ② 基準に基づく見積を業界慣行とするために必要な対応の検討
- ③ 労務費や賃金の支払のコミットメントや賃金行渡り状況の調査等への協力を担保する手段の検討 等

- このため、**本日の第2回WGでは、この職種別意見交換を開始するために最低限必要と考えられる以下の2つの論点について議論**することとしたい。

論点1. 労務費の基準の**実効性確保**について

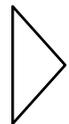
- 本日(第2回)、**実効性確保のための施策の全体像**(資料3) **について議論**することとしたい。



・本日の議論の結果を踏まえ、実効性確保のための施策の具体的な仕組みについて、**事務局で検討を深めるとともに、職種別意見交換の場でその実現可能性について議論した上で、第3回以降のWGにおいて提示**することとしたい。

論点2. 労務費の基準の**作成**について

- 本日(第2回)、労務費の基準の**「作成方法の暫定方針」**(資料4)について議論し、**一定の合意を得ること**としたい。



・本日の議論の結果を踏まえ、**職種別意見交換の場での労務費の基準(素案)の作成に向けた議論を開始し、第3回以降のWGにて検討状況を報告、全体の議論にも都度反映**することとしたい。
 ・「暫定方針」についてはあくまで暫定的なものであり、**職種別意見交換の場での検討を踏まえ、第3回以降のWGにおいて、必要に応じ見直す**こととしたい。